滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議
每張四百文 從減

油豆行情（…）
集市元豆六吊百至六三吊二百
…價錢五吊四百文至五吊
…共上車三十餘輛
…共來七十餘輛
元…吊九百至六吊八百

一七九半紙 全 一圓八十錢
一連紙 一連 一圓
一フールスカツプ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一巻紙 四十枚續 十四錢

一…紙…具
一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥 三十圓以上…五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一… 八圓以上十一圓五十錢
一長火鉢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宣德火鉢 一對 六圓以上九圓

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.
料金一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二十九番)

特別廣告

橫濱正金銀行牛莊支店

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

山東丸 大沽、芝罘、門司、神戸行 三月卅一日發
相模丸 大沽、芝罘、仁川、釜山 長崎、門司、神戸行 四月三日發
橫濱丸 大沽、芝罘、門司、神戸行 四月五日發
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行 (電話廿六番)

大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告

能登丸 門司 神戸行 三月三十日發
代理店 東營口公園地横 ブツシユ兄弟商會 遠來洋行 (電話二十三)

瀛船出帆廣告

日之出丸 長崎、門司、大連、營口間定期船 三月卅日入港 四月一日出港
摩耶山丸 大阪、神戸、門司、大連、營口間定期船 三月卅日入港 四月四日出港
賴朝丸 同上
錦龍丸 芝罘、營口間定期船 三月卅日入港 四月四日出帆
營口代理店 松茂洋行船舶部

三井洋行

倉庫部
●精製白砂糖新入荷物あり
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八番)
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷者

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院内分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋㛐鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店二仝

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南醬乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北醬乙第十三號

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(撒利)百合花牌(利利)均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東 櫃(電話九十五番) 西義順棧内 西 櫃(電話架設中)

明治火險公司

三井洋行經理
本公司開立己久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有顧保火險者請至本行面議 (電話六十六番)

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し最に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可く仍特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生
本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有濤國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
本行汽船 摩耶山丸 賴朝丸 專往東洋各埠
松茂洋行 (電話五十二番)

聲明丟失滙票

啓者於清歷正月二十二日有營口永同和在阿什河買和順昌匯票兩張計該號昌字十七號永記名下 平銀五仟參百五拾兩整又拾八號功記名下 平銀二千六百七十五兩整均係二月二十五日准期營口付銀此票係於正月二十二日由阿着合盛信局梢營不料路中丟失今已向該營分號掛號說明此二票無論失落何人之手作爲廢紙望各中外 官商切勿收用特此登報以爲聲明
清歷二月二十四日
永同和主人啓

法律事務所の開始

生儀前ニ判事幷ニ地方法院長等の官職に歷任し及び辨護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辨護訴訟事件の鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依賴に應ず
營口永世街金城館南隣り 小林法律事務所
從七位勳六等 小林一生
○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絕對に謝絕す

飯塚工程局 材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久己馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞並本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需圖本主人啓

東清鐵道 裕和盛運輸局

(電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟類代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

營口商業學校招入學生

宗旨 造成辦公實業家
學科 修身、漢文、詞章、習字、算術、圖書、地理、歷史、理化、商品、商業學、日語、英語、體操、簿記、商律、理財、
資格 十五歲以上文理明通者
學額 五十名
學費 特免惟寄宿生自備饌費餘皆本校整辦
入學 陰曆三月初一日
夜班 專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生
○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱

丸重洋行 貨物運輸

啓者 本行前在營口專賣雜貨己有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値爲貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構内分莊面議不悞
電話 營口 拾八番 牛家屯 四拾六番

材木販賣 荒物

秋田洋行
本店 下關 秋田貿之輔商店
營口永世街第一八四號平野町

上海 中井洋行

專運日本各式紙料
本行開設已歷多年會與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料事椒紙張日本機器連史紙五彩印字連單其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣

營口青堆子 加州組 (電話八十六番)

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候
三井物產合名會社 牛莊支店 (電話六十六番)

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托童叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨種多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知
新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

太古輪船公司

啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口 太古輪船公司

東京電報

●**文部大臣親任式** 前駐墺公使牧野伸顯氏文部大臣に任せられ本日其親任式を宮中に行はせらる

●**鐵國案上院通過** 鐵道國有案本日貴族院に於て修正案を可決確定せり
（以上三月二十七日發電）

●**關税案と折中案** 關税税率法改正案は兩院協議會の定めたる折中案成立す

●**鐵國議場の大波瀾** 貴族院の修正鐵國案二十七日衆議院に回附す首相西園寺侯演壇に登り演説し原案成立は政府の目的とする所なるも時局に鑑み修正案を納れんと陳べ長谷場純孝討議を須ゐず直ちに採決せんと發議し議長其成立を宣言せんとせる刹那進歩政交は躍起に反對し議長の不德を責めて演壇に肉薄し遂に鐵拳飛び格鬪始まり反對派は袖を聯ねて退場し投票の結果可とする者總數二百十四といふ奇觀を呈し修正案は確定せり

●**臺灣罹災民御救恤** 兩陛下より臺灣震災地罹災民御救恤として金一萬圓御下賜遊ばされたり

●**首相の議員招待** 二十八日西園寺首相は上院議員を帝國ホテルに招待す

●**議員へ酒肴御下賜** 三十一日貴衆兩院議員へ酒饌を賜はるべし
（以上三月二十八日發電）

倫敦電報

●**水兵のグリンウイチ往遊** 日本水兵の一行は郡役所用の汽船二隻に乘組み日本國旗を掲げてグリーンウオツチに向へり同地の市長市役所員及び海軍兵學校長ハリス大將等は同一行を歡迎せり時に雨雪頗る甚だしかりしも熱心なる歡迎者は四方より群集せり日本水兵の一行はネルソン提督の遺物を縱覽して大に感動せりグリンウオツチ市長は茶話會を開きて同一行を饗應せり
（三月二十六日發電）

●**英國皇后の優旨** 英國皇后アレキサンドラ陛下はサンドリンガム離宮より日本水兵接待の任に當れる內外水兵協會に宛て左の如く打電遊ばされたり
「忠勇なる日本水兵の我國に來れるを心より歡迎する旨を彼等に傳へよ」

●**英首相と我水兵** 首相バンナーマン氏は打電して曰く余と政府との爲めに日本の海軍將校並に水兵に對して親厚なる歡迎の意を傳へられたし我等は武勳赫々たる海軍の代表者を我國に歡迎するの機會を得たることを喜ぶものなりと

●**倫敦市長の饗宴** 倫敦市長は日本海軍將校大使館員及び著名なる英國海軍々人を官邸に招待して晝餐を饗せり

●**ネルソン提督墓所參詣** 三百名の日本水兵はセントポール寺院ネルソン提督の墓所及びウエストミンスター、アベー寺院に參詣せり彼等は到る所に於て盛むなる歡迎を受けたり

●**日英銀行の組織** 日英銀行は二千萬圓の資本金を以て組織されたり
（以上三月二十七日發電）

雜報

●**滿博の出品者心得** 滿洲奉天博覽會出品人の心得の概要を擧けんに出品物は將來販路の擴張上有益なるものを選拔すへきは勿論、所要事項を切實簡明に説明書を付すへく又特別陳列裝飾の爲め工事を要し若くは裝飾廣告の目的を以て旗、看板等を自己陳列區內に掲けんとする場合には事務所の認可を受くへし其他出品物の性質效用等を周知せしむる爲め引札目錄等の印刷物を觀覽人に無料配付せんとする場合にも亦同樣認可を受くる事、出品物の價格は總て時價を標準とし荷造は充分堅牢に破損せさる樣注意を要すとなり因に右心得の詳細は猶首唱者たる東京、大阪、京都、名古屋、神戸、横濱の六商業會議所に就き照合すべしと

●**熊岳城の礦泉** 海城鞍山店間に湯崗子の温泉あり日本人の手に依り一大温泉塲を經營しつゝあることは嘗て記載せし所なるが南滿洲には此外熊岳城に一個所温泉の湧出する所あり未だ何等の設備も出來居らざれども今大石橋兵站病院の試驗せる所に依れば同鑛泉は透明清澄にして微に硫黃臭を帶び僅に鐵味を有し泉源の温度攝氏五十度にして主として多量の格魯兒と稍ゝ多量の硫酸及び炭酸を含有し慢性濕疹、疥癬、匐行疹、慢性關節及筋肉僂麻質斯膓及胃加答兒、陳久潰、慢性膀胱加答兒、比斯的里、銃創及外傷、治療後の運動、障害、凍傷（第一度）神經衰弱、特水液性關節炎、子宮內膜炎、膣加答兒、胸膜炎、便秘等に特効ありといふ

●**昨今の郵便爲替** 郵便爲替は遼河の解氷と共に多少繁忙の傾向を生し昨今は毎日引受口數二乃至三十位ありと云ふ、尙ほ送金は主に於て四千圓其の口數約百口拂渡に於て千圓其に名古屋以西にして就中其の最も多き地は大阪、神戸、九州、四國邊なり若し夫れ名古屋以東に在りては靜岡及び東京に宛て少額の送金あるに過ぎず而して注目すべきは大阪、神戸等に送金する者は大抵商人にして其送金は概ね取引先に宛てらる者なれば從ふて其金額も多きを以て普通とするも九州並に四國邊に送金する者は殆んど婦人にして其宛先も大抵は實家若くは親戚なれば其の金額は概して少きを常とするに在りと

●**郵便貯金の近況** 昨今に於ける郵便貯金の模樣を聞くに毎日の預入は十五六口にして其の拂出は十四五口なり而して受入の分は金額概して多く一日七八千圓の平均になるも拂出に於ては其平均三千圓にも達せずと云ふ因に軍票が銀相塲に從ひ騰落する事となりて以來は郵便局の貯金者に於ても其預入は可成的軍票の騰貴時代に於てし更に引出は又た可成的其の下落時代に於てするの風を生したりと云ふ

●**野戰局と郵便切手** 從來は奉天或は鐵嶺等滿洲內地より我が內地に向け發送す可き封書に對し支那の文字を記入しある郵便切手を貼附して差出す時は其受信人は未納税を徵收せられたりしが去る本月の十四日よりは遞信省令第八號に依り以上の地方は固より其他の地方と雖も苟も我野戰局存在せる地方に在住する者は在外局發口等管內に居住する者と等しく支那の文字入切手を貼付し我が內地何れの地方に向け封書を發送して差支なく未納税を受信人に於て徵收せらるゝ事なきに　れりと云ふ尙ほ仝時に各野戰局に於ても郵便切手を賣下る事となれりとなり

新任文部大臣牧野伸顯氏

●**昨今の郵便切手** 昨今郵便局丈けに於ての郵便切手の日々の賣上金は百八十圓乃至二百圓位の者にして切手中最も多く賣れるは三錢切手にて日々の賣れ高三百枚乃至四百枚に達し次は十錢切手にして凡そ一百枚乃至百四五十枚に上り更に其の次は二十錢切手にして百枚內外なり若し其の以上の切手に至りては僅に指を屈するに過ぎずと云ふ

●**第六回評議員會** 日本人會第六回評議員會は昨日午後八時より同會々議室にて左の諸件を議したりと
一本會維持に關する件
一消防器具引繼の件
一本會出張所閉鎖の件外に事業經過報告の件
一區長推薦の件

●**土屋曹長の滿期除隊** 目下軍政署に勤務する曹長土屋氏は其前永く西分遣所に駐在し職務に熱心公平に部下に叮嚀親切に同僚中に於ても評判の最も良好なる一人なりしが本月末日を以て愈々滿期除隊となるを以て來月早々に歸朝すへしと云ふ尙ほ西分遣所水路分遣所第六派出所第七派出所の兩分遣所、二派出所內の警官以下巡捕一同は土屋氏の歸朝を好機に送別紀念として清國の故轍に倣ひ十匁以上の純金を以て鐘形のメタル樣の物を製して寄送し以て傍ら仝氏が兼ての親切に酬ひたりとなり

●**滿車の無燈** 軍隊輸送の終了以後は東清鐵道の貨車も大部分客車となり從ふて乘客も亦た甚た少からず、上り列車の如き時に滿員となるも珍しからざるに何時迄も武裝を解かず點燈せざるは單に一般乘客の不便とする所たるのみならず爲に往々危險を覺るも少からず何卒速に滿車にも武裝を解除して平時の狀態に恢復して貰ひ度きものなりと云ふ者あり

●**殊勝の夫人達** 元神廟街の島谷福十郎氏の夫人及令妹は過日西營口鳳鳴茶園に於て開催せられたる岡山孤兒院の慈善會に接待係りとして恰も自家の仕事の如くに骨身を惜ゆオ田悲〳〵しく立ち振まひ內外一般の觀覽者に對し非常の便利を與へ天晴なる夫人よ令妹よと賞賛せられたりとは近頃珍らしき挿話なりしと云ふべし

●**馬城翁の氣燄** 一時天下の花と歌はれし馬城大井憲太郎氏も其後寂として聞ゆる所無く世人をして失望せしめたるも老て尙餘勇あり頃日當地高坂氏に宛たる書翰の一の如き聊か滿洲經營に對する其抱負を窺ふに足れり掲げて讀者の一考に資せん

前畧魯國の戰后經營刮目して觀るへきものあらん之に向て日本人は一面魯國を相手とし一面清國官吏を操縱するは啻に興味ある事に候然るに小生等希望の如く滿洲經營委員會は成れり然れとも之れ內地に於ける政府部內の事井上角五郎西岡類次郎等滿韓起業經營の團結を謀りたるも亦同しく內地に於ける有志團のみ局に當る滿洲在留日本人を打て一集團とせる團体なし散漫たる日本勢力は不充分なから各地に扶植しつゝあり之を統合歸一するの法なくては恐らくは觀る可き結果なけん宜しく今日は滿洲興業同志會を組織し大方針を一定して將來の大方向を定むる事に盡力し內地に於ける團体と氣脈を通し內外相應し上下相待つて戰後經營に當るを優れりとす日本には資本經濟ありて勞働經濟なし前に勞働保護會を設け官の直轄事業に日本勞働者（即職工人夫）を使用せさる可らす云々
三月廿四日　大井憲太郎

●**東西南北** 今回我邦に來任すへき露國公使バクチエメフ氏は露國の新聞からさへ兎角の非難を受けて居る位ゐであるが氏の人と爲りは人格あり思慮ある好個の外交官であつて英獨佛の語にも通じ巴爾幹半島に駐紮して內外の重きを爲した男であるさうで決してノーヴオエウレミヤがクサす程の人物で無いさうぢや露西亞の外交官はどういふ屑を持て來ても日本のやうな者は一人も居ない▲高木醫學博士はコロンビヤ及びペンシルバニヤ兩大學の招聘に應して爲したる前後二回の講演に於て非常の喝采を博したが爲め今度米國最高の學位を受くることと爲つたさうぢやシテ其學位は世界に米國大統領と今回の高木氏の二人しか無いといふに至つては戰勝の光譽に更に一層の光譽を添へたものである▲巳に英國皇甥コンノート殿下を送つたる我國民は今月中に又々伊國親王フエルディナンド親王を迎へるとに爲つたのは國民の光榮である殊に同親王は嘗て我邦へ三度も來朝せられたるトーマス親王の若宮殿下であつて御父子共に非常の日本贔負であらせらるゝとは益ゝ喜ばしい話である▲臺灣の地震は其死傷數から言つたら濃美の震災の半分位であるが人口の稀疎なる臺灣に在てそれ丈けの死傷なのであるから其劇烈の度は一層甚しいと見てよい殊に該地方は平生餘り地震の無い處であつたさうぢやが突然に此大慘劇を演出したのは不思議である丙午の迷信も一概に排斥する譯に行かんぢやないか

●**怪餘小錄** 外交官たる牧野君が今度歸朝して文部大臣と爲つた酒屋の番頭が餅屋へ鞍換をしたやうな傾きがあるが併し餅屋の小僧もやつて居たといふので兎に角据ゑ付けたのぢや▲外交家が豹變して教育家と爲つた些と變手古は變古手ぢやが併し我邦が維新以來大小數十回の外交談判で我政府の外交的技能が絶對に零であるといふとを證明したる今日外交家が教育家と爲つて外交教育を國民に普及するといふとは極めて必要であらう此點から言へば牧野君の今回の轉任は國家當面の痛弊に中つた最も適當の任命である▲併し我失敗外交界の濁流中に十年も蠢動して居た男が此任に當らうといふのは最も片腹痛い次第でさういふ者が教育行政の首腦に座わつたら唯さへ外交に拙劣なる國民は益ゝ拙劣に爲つて來るであらう一層の事露西亞から顧問でも文部へ引張つて來た方がよい（△△坊）

投書かご

▲本年二十三才にして中學卒業支那語に通じ清國の商業に經驗あり確實なる商店に雇はれたし御採用の御方は本欄迄御知らせ下さい（希望生）▲昨日は床屋の攻撃があつて氣味がよかつたがもう一つ湯屋も征伐したいものぢや泥水の中へ入れて拾錢とは驚いぢや無いか（湯屋征伐生）▲東永茂の倉庫が失火して一棟丸でヲヂヤンに爲つた先達澤山に滅火粉をお買入れに爲つたがあれは何の爲めにお買ひに爲つたんです（穴探生）▲近頃鴉片の持ち逃げ弗函の持ち逃げなど持ち逃げが續々流行る物騷な世の中ぢや金持は注意せんと飛んだ目に遇ふぞ旅館料理店等にも女を持ち逃げせらるゝのが近頃著しく殖えて來た別嬪の女や腕の切れる女を抱へて居る料理店は女に鍵でもかけて置くとにせん事にや危險至極である（取越苦勞生）▲東永茂の火事に消防組が五百圓の慰勞金を貰つたさうぢやが鳶口一挺で五百圓をコキをこして來たとは凄い腕前ぢや諸君鳶口で金儲けをしやうと思つたら鳶口を用意し給へ（羨望生）▲「一筆さん貴方は何時御慶事があるの！さう鹿爪らしい顏をして隱くさんてに好いぢやありませんかアタイ能く知つてをますよ」是れは祇園閣で同僚藝子が揶揄つて居た言葉である（壁聽生）

●**鐵火女郎の丸髷** 金が仇の世の中とはいへ義理人情も打捨て金と云ふ名前が附けば地獄の釜の底に飛び込んでも掴むだけの物を掴まねば承知せぬといふ慾面一點張の女もあれば有る者なりつい此間迄祇園閣のお職女郎と二つ名を取つて至極拚ぶ者なき程の鉄火女郎本名小木曾シム事お新（卅二）は、いつぞや本紙朴捻老の周易にて散んざ油を絞られたるにも懲りず倍々その凄い腕と横に張切つた度胸は彼をして縱橫無盡の藝當をなさしむる導火線とは聞くも身の毛のよだつ程恐ろしき女なり抑も彼が漸く西や東の判りし十二の春より今年卅二の晩まで九廿一年の間に資金入らずに諸所のデレ助を喰物にして今は花も實もない姥櫻其上に八三化七と云ふ容貌にも係らず、どこかに云ふに謂はれぬ深趣味のあると見へ元松茂洋行に居りし加古とか云ふ男のネキ者と深くも契りお定まりの末は夫婦と互に言替し既に昨年十一月に加古の宅へ腰入りする約束を取り結びたる所其內に炭屋の雁次郞とか云ふお人好しが彼の罠に引かゝり少々懷中の暖さを覘つて加古に萬事を言ひ含め慾の皮に紋も腰も張切つたる毒婦の本性、どこまでも捲き上げんとて煙草一喫の間さへ金にせずば承知せぬと云ふ勢を以て終には逆倒に吊して絞れるとて鼻血一滴も滿足に出ぬまでも絞り上げた揚句の果てはつい四五日前日本に追ひ返し尙も飽き足らず昨夏より時折り通ひ來る正金銀行の○○を生捕つて先きか銀行故に此男を操つれば床の下から金庫でも湧いて出るか或は天井から一攫拂の紙幣や兇貨の雨でも降らす仕掛けをなさんとて○○の朋友にチヨコ〳〵當つて渡りをつけんと巧みたるも○○は彼お新が娼賣とはいへ紙の如き薄情さに却て反對に後足で砂を蹴立てば流石のお新も今更ながら驚きアヽ悔しやアノ靑首にと一時は咽喉笛を覘うて囓附く如くに叫べど喚けど詮方なく何だか物足らぬ心持ちして終に一昨日下婢廢業を其筋になし其夜數多の朋輩を集め引祝をなして元神廟街加古の宅に丸髷姿の奧臭さいとなりすましたりと

●**營口奇觀** ▲營口に時間が二つあるのが奇觀である一は日本時間一は營口時間▲西税關の海岸に黒澤大人の德政碑のあるも奇觀であらうチヤンは誰れが來て政治をやつても善いといふとを此碑が證明する▲醜業婦の海老茶式亦一時の奇觀であつた併し今は驚きも何もしない或男

大車
▲上行車時刻表
▲下行車時刻表
税關手續　船舶輸出入荷物取扱　荷物保管
日本建家屋　右家屋賣却又は貸渡す御望みの方は
諸鐵工製作
天　營口地方入氣豫報　自三月廿四日午後六時　至三月廿五日午後六時

小説

新作小説 おとし胤（二十三）

徳田秋聲

「體格は、大きくとも尚だ子供ぢやで、何處ぞで道草を喰ツて居るのでは無いか。誰かの、其の邊に行ツて見て來て與れんか。」

と寛齋老人は、近所の誰彼に命じた。三四人の近所の者は、直に手分をして探しに出た。合田も落着いて居られぬと謂ツて其處らへ出て見た。何しろ非常な騒である。

光は、家で此樣な騒をしてゐやうとは知らぬ。ちよツとの隙を見て、大急で母御の墓へお別に來たのである。何時ものやうに墓の前に蹲踞まると、何か知らぬが、押付けられるやうに胸が塞ツて來て自と涙も出て來る。

「阿母さん、私ね、何うしても東京へ行かなければならないやうになツて了ツたのよ。東京へ行ツたツて、父樣にお願申して、また歸ツて來ますけれども、私がゐなくなると、阿母さん、何樣なに、淋しいでせうね。」

此うは謂ツてゐるもの〻、光は何んだか、再び此の墓の前に蹲踞る機會が無いやうに思はれる。何ういふ譯か、これが此の墓の見收のやうに思はれてならぬ。

「それにね、私、お祖父さんのこと何うすれば可いかと思ツて、それが氣に懸ツてならないわ。私、行かうか行くまいかと思ツて迷ツてゐたのに、お祖父さんは合田と相談して、何んでも、彼でも、今日のうちに出發ツて了へと有仰るんですもの。餘りだと思ツてよ、餘り酷い爲され方だと思ツてよ。」

彼女は、足下から鳥の飛立つやうな騒に、半ば夢中で働いてゐたのであツたが、今此の幽寂な境に身を置いて、心も良落着いて見ると、何時の間にか着物まで着換えて了ツてゐるのに氣が注いた。

「あゝ、此の土地にゐるのも、もう二時間の間すら無い。今日の夜は、滊車に乘込むで了ツてゐる。そして明日は何處にゐるのか。明後日となツたら東京へ着いて、此の墓、お祖父さんの顏は固より、此の村此の國の山の影さへも見られぬ。幾ら見たくとも見られぬ。考へると人の身程不思議なものは無い。今日の淵は明日の瀬！」

光は、種々の事を思出して、漫に胸を痛くしてゐるのであツた。彼女は、東京行の話の定らぬうちは、飛立つやうに東京へ行きたかツた。東京へ行ツて父に逢ひたかツた。健三のいふ通り心は東京へ飛んで行ツてゐたのであツた。雖然去來話が定ツて了ツて見ると、而も靑天から雷の落ちるやうに、半日と經たぬうちに此の地を出立しなければならぬやうになツて見ると。急に此の地が懷慕しくなツた。祖父樣の事も一層氣に懸るやうになツた。同時に東京へ行くのが何んだか恐ろしくも思はれるやうになツた。中にも祖父樣のことが氣になツて氣になツてならぬ。

「私が東京へ行ツたら。お祖父さんは、何樣なに淋しいだらう。第一何樣なに御不自由をなさることか。」

此う考へると、光は、東京へ行くのが、一種の罪惡を犯すやうにも思はれる。

そこで更に氣が迷出した。されば母御の墓に對しても名殘が惜まれる。何時まで經ツても名殘が盡きない、それで時間の經つのも忘れて、とつおいつ思案に暮れてゐた。

「寧そ東京へ行くのを思切ツて、此處まで來たのを幸、何處かへ身を隱して了はうか。」

とも考へて見た。雖然假令隱れたからと謂ツて何時までも隱れてゐられるもので無い。何時かは家へ歸らなければならぬ。歸れば那の合田が待ツてゐやうから、所詮は東京へ行かなければならぬことになるのだ。

思に悩むで、彼女は切なげに謂ツた。

「眞箇に何うすれば可いだらう。」また健三に相談して見やうかしら?………」と考へて、驚いたやうに、「お、然う謂へば、私は晩景に健三と此處で逢ふ約束をして置いたツけ！」

併し此の約束も反古にしなければならぬ。晩景には、光はもう此の小御門村にゐない。いや、居られぬのだ。不思議なものさ。光は、今の今まで何時でも健三に逢はれると思ツてゐた。雖然愈々今日出發するとすれば、其の健三にさへ逢はずに東京へ行かなければならぬ。東京へ行ツて了へば、また逢はれるか、逢はれぬか、其處の程さへ解らぬ。

「不思議なものね！」

と光は感歎した。これがまた恐ろしく光の氣に懸ツて來た。時間は遠慮なく、づん〳〵切迫して來るばかりである。

●我が日記（三月二十二日）

梅の里人

七時十分床を出た、何だか曇つた妙な天氣だ而して馬鹿に寒い店は閑だから見本臺の陳列をやり換へた、顏も名前も知らむ人が來て五十圓程買つて與れた、近頃になき御客樣だへ、、、、、午前中は別に天氣も變らなかつた、併し寒むい事は同じだ、晝飯が濟むと主人は例の通り玉突へ行かれた、二時頃から小さな雪が降り出した、春の雪、滿洲の野ならでは自分は殊に珍らしく感じた、三時頃雪は今や本降りになつて來た、其れより二十分程經て自分は止みなき用事の爲め雪を犯かして西へ行つた、旗昌洋行の門前迄行くと支那人が競ふて濱邊へ走るから自分も行つて見た、檣頭に日章旗を飜かひして居る可成大きな滊船が入つて碇泊した處なのだ、今年になつて自分の見たのは此れが一番初めである、五時頃用事が濟むだので少し積もつて居る雪を踏むで歸店した、夜は古川禪師の來臨を乞ふて原人論の講義を聞かして貰つた、十時頃皆就寢せられた、自分は春の雪に就て何か一首詠もうと思ふて首を捻くつたけれども此れと思ふのが出ない辛ふじて一首もとより歌格には入つて居ない

若菜つむ春とは言へど風さむみ　のべの乙めが袖に降る雪

十一時床へ入る、まださまで遲き時刻でもなきに萬籟寂として聲なく雪は靜かに己が翼を伸ばして居る

丙午春日感吟　大石橋　岩城黄雨

維武維文粲國光　東洋偉業至玆昌
天恩等仰春風裏　疆土滿韓草木香

春雪

未發江南一朶梅　天公及弄六花來
風流況復無詩債　富貴先占玉屑臺

春十句　木嬰

潮滿たり海苔柴將に一二寸
浦人か網下す夜や歸る雁
若草に日の暮か〻る裾野哉
山道や十歩隔てす雉子の立つ
南園に耳うとさ身の接木哉
接木畑一ト株毎の園かな
出代の來や早々粗相をす
擂鉢の底に泥吐く蜆かな
花椿折らんとすれは轉け落
堂守の土筆煑て居る夕哉

廣告

告示

三月廿二日第四回懸賞捕鼠抽籤執行したる結果當籤番號左の如し當籤者賞金受領に付左の通り心得可し

一、當籤者は四月五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ現金を受領す可し
二、四月五日を經過するも尚賞金受領の爲め衛生局に至らさるものは其當籤効力は消滅す
三、賞金額
一等　銀五十圓　二等　銀十圓
三等　銀二圓　四等　銀一圓

三月廿二日第四回抽籤懸賞捕鼠號章程列左
一、當籤者於四月初五日以前持原籤赴衛生局領賞過期其原籤即消廢無用
二、賞銀額
一等　銀五十圓　二等　銀十圓
三等　銀二圓　四等　銀一圓

第四回捕鼠抽籤當撰番號

一等	二等	三等					四等				
一五九三	一五八〇	二三四七	二〇九四	二二九三	二一九五	二五一一	二六五五	二五一七	一一九八	二六〇八	二一八三
	二四七五	二三一七	一七一三	一八九七	二四二三	一三二八	一七〇五	二〇八三	二四二二	二一三六	二五四二
	一七〇七	一四四七	一三八三	一六五七	一九三六	一九〇九	一三四五	二一六三	二二八〇	二九二八	一四七三
	一四四一	一四五〇	二〇八五	一七六八	二三九三	二一四二	一七四四	二二〇五	一四〇〇	二一八一	一三九二
	一七二六	二二八九	二五一〇	一九九〇	一七二〇	一九三〇	一二八三	二四〇九	二五五九	一四九二	二二四四

大阪商船會社 荷客取扱所
内外船舶代理店　船舶貸借仲立
水陸輸送貨物仲次　輸出入稅關手續　艀船人夫運搬請負
諸品委託賣買　倉庫業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候滊船御乘船之御方樣は御一報次第切符持參仕候尚御手廻り貨物持運ヒ等當店送迎組ニ御用仰付被下候へゝ迅速確實ニ御取扱可申上候
西北街　徳重洋行

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄（施療の入院を諾す）
院主　森
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電一五五番）

このわた新荷着
大原洋行
營口永世街第二八號

滿洲商家名鑑發行の趣旨
滿洲商家名鑑は滿洲各地に散在店舗を構えて業を營む本邦人を普く網羅し且つ著名商店の現況を仔細に描寫し店主若しくは主任者の閲歷性行等を詳錄し汎く之を紹介し以て商業取引の圓滑融和を圖らんとするにあり製本体裁は菊版本綴表紙總クロス三百餘頁とす　一部定價銀二圓
一寫眞廣告料　二十圓
一特別廣告料　二十圓　普通廣告料十圓
右發行人　安齋源一郎
◎原稿採集の爲め馬島音三郎を貴地に派遣いたし置候間同人御伺ひ致し可申恐入候得共相當御便宜御與へ被下度伏而乞上候也
滿洲商家名鑑發行人　在大連　安齋源一郎
營口各位
◎營口商家案内地圖編纂
右は滿洲商家名鑑附錄として發行可仕尚製版印刷の上は特に一葉賣も可仕候也
廣告料　一案六圓
同地圖に廣告なさんと欲する諸彥は營口元神廟街二三鵜澤商店方馬島音三郎迄御申込を請ふ

鐵嶺　西門外大通
御旅館　福屋　御料理

料理部開業披露
弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粋を鍾めし藝妓仲居も弊店付として内地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整愈〻本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候
追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　料理　第一營口ホテル　第一樓（電話八四）

和田保生　並分莊　本店大坂
Y.W.

北京　扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室清潔　料理鮮新

會席料理　三日月
營口警務課前南に入る

御旅館　豐陽館
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
上海（電話一〇六番）
館主　米田藤吉

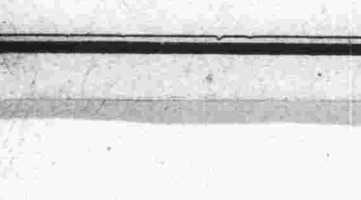
和洋會席御料理
一當店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に常附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
日本館（電話百三十）
各位樣

千　万　客　來

東營口郵便局東隣　島田洋服店
新民屯停車場前　同支店

料理　滿月
滿月支店

御手輕料理
一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一銅壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候
月　日
營口元神廟街二〇九號
翁亭



税關手續

一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也

營口英國領事館東首 綏定門街第五〇
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮歲

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着

第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸買一切御斷申候

ブッシ商會

本家 日本東京神田鍛冶町 堀內大藥房

あさだあめ
淺田飴

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣

肺病痰喘氣急傷風痰嗽小兒風疾病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

永世街 東瀛大藥房
房主 藥劑師中馬龍造

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段ハ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
謹言

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉（電話一三六番）

發賣 材木 標子 木板

鹽川商會

遼陽小西門內
鹽川商會

●建築用材北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付貰大和
酢醬油瓶詰樽詰
菓子鑵詰色々
洋酒類
右取次販賣

牛莊港東營口
宅合名會社營口支店

大日本東京
本山崎帝國堂葯房處修舖

腦丸
天授

天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也 たんせき、ねつさましの一切の妙藥

腦丸者天下唯一之腦病靈藥也 腦病の名藥にして他に類なし

大清國
營口大街（永世街二本町）
藥司洋行 淺野爲三郎
藥劑士
福壽堂 大葯房
醫械藥材 有名靈藥 總發賣處
總批發處

旅人宿 東館

大連市信濃町卅九號地

特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

石材、碎石
並に自家製造 瓦、煉瓦
廉價販賣

順吉洋行

營口元神廟街四十號第二號

雜貨 すし米
醬油 清酒 大樽 半樽
水炭

營口西北街
阪神組

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

大日本帝國醫科大學模範藥局御用
攝津灘石崎合資會社釀造

澤之鶴
醇良清酒

滿洲特約大販賣

周
清國營口西北街
裕和盛號支店
電話八十一番

大連湖北彩票每日賣出

○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

東清鐵道裕和盛運輸局

○支店韓國京城、仁川、木浦、
○支店清國、旅順、鐵嶺、芝罘
○本店日本長崎梅香崎

澤之鶴は 既に定評ある天美錄！
裕和盛は 清商中日本通の張本！

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口南永世街憲第三十六號
北斗洋行質屋部

奉天日本旅館
瀋陽館

家屋宏壯清潔
接待優遇懇切

開放全時一開業
奉天小西門外ナ街路北

御旅館
天津
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理

代論

不仁愛則不能群不能群則不能勝物說

（京師譯學館文學研究科）安州馮肅恭

避禍就福者。爲生物之本能。損人利己者。爲初生之一念。然而千鈞之重。非一人之力也。大廈之構。非一木之支也。故合家族以爭。合部落以爭。合一國以爭。又進而合種族以爭。愈爭愈大。愈大愈爭。何有於愛。又遑論乎仁。然漢制法志曰。不仁愛則不能群。不能群則不能勝物。夫旣曰仁愛。然後能群矣。而又曰能羣然後勝物矣。是仁愛即爲勝物之具。而勝物旣成仁愛之名。推孟堅此意。亦惟泯其爭於內。而大其爭於外。然後各遂其私也。不然。妨生之物甚多動輒相傾相軋。爭之不已。各自效其才能。各自奮其私志。倘不能作息相友。貴賤相準。聯大群。集大力。則爲士者廢于學校。爲農者棄於隴上。爲商者不能梯航海外。爲工者漫散于廛肆。知識日劣。風俗日漓。各失其私。必不得人遂所私已。善乎近人之論自營曰。由私生慈。由慈生仁。由仁勝私。此眞善言仁者。今夫親何以親。曰私也。悌何以悌。曰私也。推之何以愛一家與愛一國。亦曰惟私之故。于是加以仁愛之名。猶之可也。然而仁愛可爲競爭之地。亦可爲猷羞之因。何者。徒言仁愛。而反爲無賴之階。仁愛參以敎育。而後仁愛爲不虛。必使知人群組織。固非孤立所能成而外侮之乘。亦非隻身所能敵也。必以仁愛乎己者。而亦仁愛乎人。共同事業。共同精神。而後仁愛始公而不私。而其群始固而不渙。故宋儒橫渠曰。民吾同胞。物吾同與。凡天下疲癃殘疾煢獨鰥寡。皆吾兄弟顛連而無告者也。嗚乎斯人往矣。而吾輩際此多難多事之秋。比德比權之世。倘縷縷不相聯絡。不相響應。但知爲我自營。而不知兼愛之義。即富累千萬。俄焉欲爲貧人而不獲。即貴至王侯。倏焉欲爲匹夫而不得。立錐之地全無。容足之居皆去。噫。亦慘矣。雖然。無私則愛無由生。但使因私及公。充之即爲博愛之仁。而人道獲優勝之福。物未嘗不知愛也。但愛其身而不能愛其群。是以受劣敗之禍。語云。孩稚調笑。戾夫爲之破顏。一人向隅。滿堂爲之不樂。釀之于內。即波及于外。此皆仁心之起點。熱誠之所從生也。雖然。同是群也。昔以爲大而公者。今則小而私矣。使從一二群。而與不羣者爭。而不群者仍吾人也。吾人之中有不群。即不得言大公。吾不知班氏之所謂群。其公私大小奚若。

東京電報

●宮中舉行文相親任式　前駐奧欽使牧野君陞任文相本日於宮中舉行親任式

●議定國家所有鐵道案　本日在貴族院討議國家所有鐵道案以大多數之人議定該案一如修止案云

（以上西三月二十七日發）

倫敦電報

●因革命紛亂死傷數　據俄政府報告云昨西一千九百零五年因該國革命之紛亂死者共一萬四千一百二十人傷者一萬九千五百二十四人共計三萬三千六百四十四人之譜云

●受領戰艦委員等受優遇　日本受領新造戰艦委員並各水兵刻已赴英京到阿爾波多船廠大受歡迎甚爲欵洽云

（以上西三月二十六日發）

中外要聞

●摩事近聞　字林西報得倫敦電稱亞耳格拉司地方議摩洛哥事之議會現已調和國家銀行之問題又德文報得柏林電云深望法蘭西允許與國調和摩洛哥巡警問題之條陳否則德國亦須收回所允許之成命云又法文報云亞耳格西拉司議事會已得與國條陳請將摩洛哥巡警四處中以三處歸法國西班牙一處歸斯活壽蘭望此條約可以和允云

●公司被火　文匯報得香港十八日十一點五十分鐘電云禮拜日綠島四門汀洋灰公司失愼焚失約値洋二萬元惟均有保火險

●簡任內閣大臣　法文報云法總統福立捩斯巳簡管姆沙林氏爲內閣大臣惟沙林氏請俟商明其友再定

●允授新內閣大臣　字林西報得倫敦電稱法國愛姆沙林氏已允爲法國新內閣大臣

●准開河道　字林西報接倫敦電云俄國政府巳准美國管庫者所建議自波羅的所屬之列茄地方至黑海所屬之后森地方開小河道用水閘之策惟不納船河之策

●海島設學　廈門金門海島前有浯江金沙兩書院停止科舉之後兩院均即鎖閉本地巨商王君敬濟向在日本神戶營業此次歸鄉因念日本之富强概由敎育之普及擬將金沙書院改爲小學堂王君身任其事現力勸捐經費而金門縣俞二尹亦大贊成不日當能成立云

●擬設彩票不准　豫撫陳小石中丞應興辦農工商諸務需欵甚亟擬照湖北江南等省奏辦彩票本年十一月起開辦河南協捐彩票在省城設立總局於東南各省商埸貞盛之處設局分銷今由戶部議駁以爲利小害大不如別籌良策云

●漢口大火　十一日夜二點鐘時新馬頭河柵一姚家因賭鬪毆遺火洋油箱內致兆焚如延燒沈家廟廣福巷大水巷猪血帮永寧巷等處共計房屋二千餘間然被燒者大都茅棚板屋亦誠貧黎之巨劫也

●南洋嚴防造言生事　上海地方前因西報訛傳北京緊信並北洋大臣星夜入都李太監被逐各情遂致展轉訛傳南省人心大不安謐皆爲無根之說聞周玉帥深恐長江一帶匪徒任意播散有碍安寧秩序已通飭各地方文武各官嚴禁造謠生事一面電告政府秘拿在京造謠之人

●粵路聲明奏歸商辦　廣州總商會接到岑雲帥照會內開案據廣東粵漢鐵路總局司道稟稱案准廣東善後局移開（中畧）本官堂據此查贖回粵漢鐵路之款本年三月十三日應付第一期利息英金二萬四千七百五十磅除將二月以前省佛枝路餘利儘數撥抵外尚不敷利息英金九千七百五十磅粵省應攤七分之三計四千一百七十八磅十一先令零自應趕緊設法籌備以免貽誤至粵省應攤本息前准兩湖總督部堂來電按期就近匯交香港匯豐銀行兌收以免轉折據稟前由除分別電咨鄂湘兩省查照外合就照會爲此仰該總商會紳董即便遵照迅即邀集議辦鐵路紳商赶緊籌議辦理務宜於還期前十日稟復核奪爲要再粵商現集鐵路股分近閱各報均謂已交小票數十萬元雖實收之欵若干未據查報而此欠商民踴躍集股力圖公益本部堂良深欣慰惟現時所交之欵皆係零星小股居多其富紳大賈認股較巨者聞尚不無觀望或以商辦宗旨未明致生疑阻或以商舉總理未定致涉游移不知此次贖回鐵路原以挽回利權爲主本部堂但期路事有成辦理不無成見粵省紳商如果實能籌集鉅欵將築路之費與每年應還贖路本息及未贖之金元小票一切實担任并能遵照商部奏定商律認眞辦理本部堂自必奏明請歸商辦刻日將路交商接收無所用其疑慮至於商舉總理責任最重誠在得人非有品行端方老成幹練辦事實心身家殷實素爲粵省紳商所信服者未易肩此重任現聞紳商屢經集議尙未舉定有人自係愼重起見惟是總理之人一日未定則接收興築等事必致稽延而此次贖路之欵每年應付息銀數拾萬兩之多亦將虛擲轉爲商民之累是商辦鐵路籌欵固應從速而肩任總理之人尤應迅爲選舉俾可早日集事本部堂實深厚望至借欵合同付還本息年期淸單暨粵省應攤數目表併發查戶毋違須至照會者計發合同淸單一件表一件

雜報

●船戶需索　昨午後有隨烟台輪船之坐客十餘人下船雇一舢板言明每一人洋半角船主輿甑魁碼頭坐客登岸因船戶索錢太多坐客十餘人將船戶捉住意欲毆打幸有衆人勸解始各散去

●被刼瘋顚　有錦州友人云有一洋線客來營買貨身帶現銀元二百餘元至双台子北被盜刼去其客驚成瘋顚之疾日在鄉村乞食嘗訴其被刼之事云云

●土車馬逸　今晨有一拉土之大車忽然馬驚至老爺廟橋上傾倒車夫觸傷脛骨不能動步幸有同夥一人將車夫救起扶去云

叢談

●漆椀　臨川李鄉甫觀察在京師玻璃廠購得髹漆木椀一器面逕七尺有奇底口坦半週身作連環方勝紋雕鏤工細作深赤色椀底有沉瀣同甌四正書陽文濃金塡抹古色繽紛係永樂時果園上貢漆器無疑觀察頗寶貴成果亭中丞思以漢玉盤易之而不可得同人賦詩歌以寵之

●茶具　錢塘吳曼生司馬有錫壺茶具雕刻精好全用畫筆與文三橋之鐵筆稱伯仲曾見其茶托子一作海棠花式面鑿詩句云山吐無聲月江流有韻瀾旁勒偶得句三小字詩境雖少然有逸致司馬亦才士也

●輓聯　蘇州顧衡芷少尹其配沈氏卒傷痛弗勝作悼亡詩十首哀豔動人徐鐵孫觀察輓以聯云美人靚顏明珠晦色寶瑟水謝瑤臺頓傾蓋集選句也周仲墀太史見之謂徐曰聯語誠佳惜頎腹龐者不相稱耳蓋沈偉軀巨趾才與貌違故也

●哀詩　宋荔裳卒後賸一幼女視髮中山爲尼名道啓詳見弁經樓詩話王漁洋裔孫某聞爲皂隸南昌尙喬客茂才有詩哀之云當年赤幟豎騷壇實樹盈庭尙可觀名盛久知明七子孫[illegible]今似魯三桓誰將裴豹丹書爇會使華泉後裔安寒食不須頻上墓鵑歸華表恨漫漫按宋則官至觀察王則貴爲尙書亦足極詩人之榮矣後嗣淪落至此殊出人意表

NEWCHWANG, THURSDAY, MARCH 29, 1906.

A Kindness That Is Not Wasted.—(Part I.)

Our Tientsin Senior the "China Review" has given in its issue on the 23rd inst. an editorial comment upon an article in a recent issue of another esteemed Senior presumably Le "Courrier de Tientsin" and on "a letter of an unknown correspondent who signs himself 'Short Leg'," which has been also produced at full length in the next column.

Both article and letter under notice have been accorded, as may be expected, but scanty courtesy in their reception in the comment, and been treated in a deprecatory strain ringing with lofty corn and sarcastic irony.

But for the fact that the whole affair has been unmistakably caused by the implacable antipathy towards the Japanese so persistently aired by the one, clashing with the strong sympathy evinced by the other with the "little brown race," on whom, with all their faults, friendly "enthusiasm" of whatever "youthful" volupty, if only shown in sincerity, is the last thing in the world to be "thrown away" but will invariably receive due appreciation, we should have been admonished from meddling with our elders' little differences.

In ignorance of what classes of unfortunate patients are cared for at the "Lunatic Asylum of Charenton," we refrain from concurring hastily with our French sympathizer in his pronouncing the gifted "Editor of the China Review" as a fit subject for incarceration in the asylum.

However, if the strange acute mononania of accusing the Japanese on merely imaginary grounds of being the authors of every trouble in China, not to speak of Manchuria and Korea, in the one frantic though futile attempt at sowing the seed of distrust against them in the mind of their friends, evidently out of no less insane thirst than to see good peace-loving peoples on the habitable globe set at daggers drawn, against one another, so that the lately returned Peace may be expelled by the cruel demoniac War in order to drench the fair earth with human blood again on the first fine day—glorying in the hallucination that the irresponsible sweeping condemnations have opened the eyes of the public to the real make-up of the well veiled "Jap" character—can be one of the specialities successfully treated at Charenton; no one would recommend the commission of the ailing journalistic genius into the tenderest medical attention of the institution with greater emphasis than ourselves, in the interests of peace and good fellowship among men, but quite independently of petty personal feelings.

The local weather forecast for to-day ending at 5 this afternoon is 'cloudy with the south wind and a little rain. The storm warning has not yet been withdrawn.

Late on Tuesday afternoon, Messrs. Bush Bros. received the first consignment of general cargo this year by the "Hsinchi," Chinese, direct from Shanghai, and the "Kyodomaru," Japanese, brought in 450 natives from Chefoo *via* Lungkow, leaving yesterday afternoon. The "Kweiyung," British, the first steamer from Hongkong *via* Taku came in yesterday morning, the only arrival reported during the day, with general cargo and 9.4 Chinese passengers on board, Messrs. Butterfield and Swire being the consignees.

Despite the considerable remnant of odious floes still tarrying, quite a number of junks have already put in an appearance, and all along the shore front and busier streets, an air of bustle and activity usual to a flourishing port has begun to dispel the insipid quietness lingering after the departed winter.

We learn that, with the agreement of the Consular Body, the Japanese ports of Osaka and Kobe have been declared "infected."

It appears that a little depletion in the camp of fair dancers, has not been suffered to still a cry too strong to be repressed for another social gathering. For, a dance has been announced by the Winter Amusements Committee to be held at the Assembly Rooms this evening at 9 p.m. We wish the promoters every success entitled to the fitting finale of the singularly propitious season.

In the disastrous earthquake lately experienced in Formosa, 1106 lives were lost, 715 people being seriously and 1,147 slightly injured, besides the destruction of 5952 houses.

T. I. M.s the Emperor and the Empress have graciously bestowed Y. 10,000 towards the relief of the destitute victims.

時刻

唐山至天津	上六、二二	上一一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、	下六、四五
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝邦子至新民屯	上三、〇〇	下六、五七

ハ保管可申候
市場北三階樓
時計店ノ二階
宮原公司

永世街二本町二六九
楠屋
土木建築用鐵材料一切
其外鑄物諸般

昨日の氣溫
昨日 最高溫度五十一度八 最低溫度四十度五
昨年との比 高二度二 高九度八

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

料理旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 柏屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル

料理 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號

第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園

旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 叮嚀專一

御料理並ニ温泉 一力 營口永世街 店主 堀万助 毎日新湯

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團搥

旅館 西洋料理館 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 御料理 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 温泉付大勉强キレーヂヲイシヒ 樓主 大瀨七造

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側（電話十七號） 館主 入江熊男

旅館料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井ユノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき様に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上

旅館 御料理 高砂館本店 奉天十間房第十五號

高砂館支店 奉高館 奉天城外廿四號 店主 宇木智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話號） 主任 藤島初野

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉強館 奉天小西關外北長發園隣

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居新來 金城館料理部

奉天 小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號 大清通運公司營口支店

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲け新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合

歐米各國最新流行形 西海洋服店 永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

爲替相場（三月二十八日）
日本向 一百圓二十五錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向

日本品最近物價表 加藤洋行
一半紙 一紙類 二圓九十錢より三圓廿錢 一〆 七圓五十錢
一状袋 一全 二十枚續 三錢二厘以上四錢 百枚 十三錢以上十八錢
一室内装飾品及寢具 上野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一疊 一薄縁 十枚 二圓六十錢以上三圓 一麻縁通 一疊敷 八圓 一綿縁通 全 三圓 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙

故沖禎介 追悼の爲め江湖諸賢より玉梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度くと存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也
一、紙判は美濃紙大
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍
御問合の件あらは左に
新民府 奈良崎八郎
營口瀛華學院 上野政則
大清通運公司 安田貞藏
同志友人 敬白

爲替劵無効廣告
清暦本年正月二十二日弊號は在阿什河和順昌に於て本年二月二十五日營口にて支拂ふべき爲替劵即該號昌字十七號永記名下銀五千三百五十兩仝十八號功記名下銀二千六百七十五兩の二通を買受け去る二十二日阿什河より合盛信局に托し送附の途中之を紛失せり依て直に該營口分號へ此由を説明し以后該劵發見するとも無効に御坐候間此段廣告候也
營口 永同和主人啓

發賣 標子 木板 料木
營口青堆子 清水寧木局（電話九十四番）

大連 東洋ホテル 大連鐵道停場附近民政署前兒玉町

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 二石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干壚魚 ○石灰
喜久洋行 永世街八十號（電話百五十二番）
卸小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

營口元神廟前 飯塚工程局材料部（電話百三十五番）
弊局上木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦 等
一日本石炭數種

新着の御知らせ
東京より 蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コツピープレス等
其他 雛立印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屏風等夫れ〱產地より着荷仕り候
新到 各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屏、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、
營口 加藤洋行（電話八十番）